

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

カクヨムで「頑張る女子主人公コンテスト」が開催決定。
その名の通り頑張る女子のストーリーを募集するコンテストです。

【頑張る女子主人公コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/working_woman_comicalize/detail

- ・ 募集内容 頑張る女子の物語
- ・ 開催部門 現代部門・ファンタジー部門
- ・ 受付期間 2019年9月2日(月)～10月1日(火)
- ・ 規定字数 10万字～16万字(完結していること)
- ・ 大賞特典 富士見L文庫にて書籍化& COMIC BRIDGEでコミカライズ

条件は主人公が頑張る女子であること。
なお説明文にこんな文言が書いてあります。

「働く女子やIターン、Uターンをテーマにしたものなんて狙い目かも!？」

こういう具体例はありがたいですね。
ストーリーを練る上で参考になりますからね。

設定としては定番ですが、都会暮らしに疲れた主人公が、IターンまたはUターン就職して、田舎の人情にハートウォーミング……みたいな？

もちろんそれ以外の作品でもいいでしょうが、頑張る女子の物語を書かれている皆様は、コンテスト情報をチェックしてみてもいいでしょうか。

以上、頑張る女子主人公コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

第 201 回コバルト短編小説新人賞の発表がありました。

第 200 回の発表を紹介していなかったのですが、今さらではありますが、2 回分まとめてリンクを貼っておきます。

【第 200 回】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no200/>

【第 201 回】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/201/>

今回もっとも印象に残ったのは、第 200 回入選作品『朱い道をなぞる先』の選評にある、三浦先生のコメントです。

特にページ下部の 20 行のコメントが熱い。

読んでいて「なるほど確かになあ」と感じました。

【該当ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no200/003076/>

要は、

「女子は自己評価が低い場合が多いから、君は君のままでいいと認めてくれる男性にキュンとなるし、少女漫画にはそういう傾向の話が多い」

ということが書いてあります。

勝手にまとめたので正確なニュアンスは原文をご覧ください。

そういう観点で少女漫画の名作の数々を思い出してみると、確かにそうだなと納得できるし、この発想は創作の参考になるんじゃないかと思いました。

こんにちは、らくだです。

ビーンズの 2 次発表がありました。
通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/18th-award/entry-1613.html>

- ・ 1 次通過 50 作品
- ・ 2 次通過 9 作品

応募数の情報が探しても見当たりません。
最終発表で判明したらその時に載せたいと思います。

なお読者審査員の募集要項を見ると、活動期間が 7 月～8 月中旬と書いてあったので、今まさに読者選考が進んでいる感じでしょうか。

最終発表は 9 月予定。
今から結果が楽しみですね。

それからビーンズ関係でもう 1 つ。
ビーンズ文庫の協力で以下のコンテストが開催中です。

【第 20 回プリ小説コンテスト】

<https://prcm.jp/novel-contest/otokonokomesen>

小説掲載サイト「プリ小説」で開催中の賞ですが、角川ビーンズ文庫賞を受賞すると、ビーンズ文庫編集部による選評がもらえるようです。

募集テーマは「男の子目線」だそうです。
ご興味のある皆様はチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

10月1日に消費税率が改定されます。
それに伴い郵便料金も変更になるので要注意。

ウェブ応募が主流となった現在、郵送で投稿するケースは少ないかもしれませんが、料金不足には気を付けましょう。

【郵便料金の変更】

https://www.post.japanpost.jp/service/2019fee_change/index.html

レタパの変更は次の通り。
それぞれ10円アップします。

レターパックライト（青い方）360円 → 370円
レターパックプラス（赤い方）510円 → 520円

内税で360円の税率が8%から10%になった場合、実質的に7円しか上がらないはずですが、そこはキリよく10円上がっちゃうわけですね。

ちなみに今あるレターパックは10円切手を貼り足せば使えます。

なので急いで使い切るような必要はありませんが、10月以降に投稿する際、うっかりそのまま送らないよう注意しましょう。

なお投稿者に関係があるのはレターパックだと思いますが、ハガキや封書料金も変更されるので、未確認の方はリンク先の料金表をご覧ください。

以上、郵便料金変更の話題でした。

オシャレ炉端焼きランチ - 2019.08.05 Mon

会社の先輩が炉端焼きの店を紹介してくれた。
注文したのは週替わりメニューの生姜焼きランチ。

しかしなんだこれは！
おかずが収納ケースに入っているじゃないか！



じっくり見たけどマジ収納ケース（汗）

しかしこれが一周回って絶妙にオシャレ。
料理も出来立ての炭火焼きでとっても美味しい。

あと画像じゃ見えないけど、この収納ケース（？）二段重ねになっていて、上段を取ると下段から副菜が出てくる重箱チックな仕様でした。

いやはやこれは良い収穫。
人に紹介してもらおうと自分では行かないタイプのお店に行けるからいいですね。

なお南森町の「robata279 -ぼくが權を捨てた理由-」というお店です。
店名の謎めいたサブタイトルがワナビ心をジワジワとくすぐってきます。

【robata279（ロバタツナグ）】

<https://tabelog.com/osaka/A2701/A270103/27096891/>

近ごろ夏太りで微妙に太ったんですが、美味しい物を食べるとテンションも上がりますし、あまり神経質になりすぎず適度に食を楽しみたいです。

こんにちは、らくだです。

今年で 15 周年を迎えた小説家になろう。
それを記念してリアルイベントが開催決定。

私もこっそり応募したのですが本日当選ハガキが届きました。

【15 周年イベント】

<https://n15-event.com/>

- ・開催日時 2019 年 9 月 29 日（日）
- ・開催時間 約 3 時間程度を予定
- ・開催場所 松下 IMP ホール（大阪市中央区）
- ・実施内容 ゲストを呼んでのトークショー（詳細は後日発表）

現時点でサイトに詳細は載っていません。
ただ当選ハガキには「朗読も歌もやっちゃうよ！」と書いてあります。

いやいやいや。
ちょっと待って。

なんか私、作家さんの講演会みたいな真面目系イベントを想像してたんですが、ひょっとしてこれ声優さんがトークして歌っちゃう感じのイベントですか？

そいつぁウルトラ大歓迎だぜ！！（声オタ並感）

というわけで。
9 月 29 日はリアルイベントに参加決定。

会場内は無理だと思いますが、周囲の写真とか撮ってくるので、終わったらまたブログに載せようと思います。

今回はふと感じたひとりごとを。

数日前に紹介しましたが、コバルト短編の選評コメントで、三浦先生が「女子は自己評価が低いケースが多い」と書いてらっしゃいます。

【該当ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no200/003076/>

もちろん一概には言えないし、性格や個人差も大きいと思いますが、確かにその傾向があるなあ～と感じる件が。

それはそう。

オタクが推しキャラに対してどう思うか。

男性の場合「○○ちゃんは俺のもの！」ってなるけど、女性の場合「○○君は私のものよ！」とはならないというか、自分もオタク歴だいが長いけどそういう人は見たことないです。

女性はむしろこんな感じ。

かくいう私もそうですが。

「あの人すごく格好いいけど、私なんか絶対に釣り合わないし、好きになってもらえるわけないし、近所の顔見知り程度のポジションでいい」

何故かこういう傾向ありますよね。

自由に夢を見ていいはずの二次元でさえ。

逆に言うと、こういう傾向が大前提としてあるからこそ、平凡な女性が王子様に見初められる「シンデレラストーリー」が好まれるのだと思います。

上に書いた通り個人差のある問題だし、女性はこうだと決めつけるのも良くないですが、色々考察してみると面白いテーマなんじゃないでしょうか。

こんにちは、らくだです。

連日の猛暑のせいか会社のパソコンが壊れました。
なので新しいパソコンを買って今日はその設定をしました。

しかし、しかしだ。

これって一体どうなのよ。
ダイナブックのマニュアルの表紙。



おーい?
東芝さーん?

いやまあ美少女ナビキャラはいいんですよ。
最近はそのうちのあちこちで見かける時代だし。

しかしながら、前髪七三分けの文系ジト目メガネっ娘をチョイスするとか、あまりに上級者すぎて担当者に説明を求めたいぞ!!!

なお名前は「まなちゃん」だそうです。
ダイナブックについて学ぶから「まなちゃん」なのかなと仕事中に一人で妄想。

とにかくこれは東芝の評価を上げざるを得まい（メガネクイツ）

と思って確認したんですが、今はダイナブックを作っているのは東芝ではなく、会社名自体が「Dynabook株式会社」になっている模様です。

以上、投稿とまったく無関係なひとりごとでした。

こんにちは、らくだです。

先日なろうイベントに当選したと書きましたが、席に余裕があるのか追加募集が開始されました。

いや実は思ってたんですよ。

会場のキャパ 857 席だし内容未定で募集かけてもそりゃ埋まらんだろと。

しかし今回の 2 次募集では、出演声優さんが公表されましたので、抽選の競争率はググッと上がるのではないかと思います。

【小説家になろう 15 周年イベント】

<https://www.mbs1179.com/narou15/>

- ・開催日時 2019 年 9 月 29 日（日）15 時～18 時
- ・開催場所 松下 IMP ホール（大阪市中央区）
- ・応募方法 リンク先の応募フォームから応募
- ・応募締切 2019 年 9 月 9 日（月）
- ・参加費用 無料
- ・出演予定 寺島惇太さん、三澤紗千香さん、なろう作者、MBS アナウンサー

ていうかこれさ。

なろう作者じゃないのに声優さん目的で参加するヤツ絶対いるだろ。

まあ応募のために新アカ取った私が言うことじゃないですけどね！

いいんだこれから真面目に活動するから許されろお願い！

それはさておき、イベント詳細も出たことですし、当日出席可能でご興味のある皆様は応募してみてもいいかがでしょうか。

お盆休みが！！ 始まった！！！！

というわけでテンションが猛烈に上がっております。
今までサービス系の仕事だったので今回が人生初のお盆休みです。

さてさて。
投稿者の夏の風物詩(?) 電撃の 2 次・3 次発表がありました。

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_26_01.html

- ・ 応募総数 4,607 本
- ・ 1 次通過 467 本 (長編 410 / 短編 57)
- ・ 2 次通過 177 本 (長編 165 / 短編 12)
- ・ 3 次通過 79 本 (長編 76 / 短編 3)

3 次通過リストに知っている方が何名かいますが、ここまで来たら是非デビューして欲しいところ。

俺が踏まれている際に……！
お前は先へ進んで栄光をつかむんだ……！

あと長編と短編の内訳。

元々わかっていることではありますが、改めて「長編 76 / 短編 3」という数字を見ると、短編での受賞が
いかに難しいか実感できますね。

まあ長編で受賞するのも充分難しいですが、とにかく知り合いがいると応援にも力が入りますし、4 次発表
を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催された「『アニメ新世紀宣言』体験談コンテスト」の中間発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/animec_2019

- ・ 応募総数 23 本
- ・ 中間通過 19 本

この企画は通常の小説コンテストではなく、1981年2月22日に新宿アルタ前で開催された「アニメ新世紀宣言」の体験談を募集するというものでした。

1981年といえば今から38年前です。

その当時イベントに参加した層と言えばアラフィフ以上の世代でしょうか。

なので応募数は少なめですが、それでも23本集まったという事実に、アニメ史におけるガンダムの偉大さを感じずにはられません。

余談ですけど、「ガンダムの主人公は誰？」という質問で、その人のだいたいの年齢がわかりそうですよね。

自分ならアムロと答えますが、今の若い子はヒイロだったり、あるいはキラ・ヤマトだったりするのでしょうか（遠い目）

以上、『アニメ新世紀宣言』体験談コンテスト中間発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園でその名も「プロット 10 本ノック！」というキャンペーンが開催中。

コンテストに応募してみたいけれど、何から始めていいかわからないという人のために、まずは近況ノートでプロットを公開しようという企画です。

【プロット 10 本ノック！】

https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019_campaign05

- ・開催期間 2019 年 8 月 9 日（金）～8 月 25 日（日）
- ・参加方法 近況ノートにカクヨム甲子園用のプロットを投稿する
- ・投稿本数 5 本以上（10 本以上だと当選時に追加賞品あり）
- ・当選賞品 計 20 名に図書カード NEXT（500 円分）進呈

プロットには下記の要素を盛り込む必要があります。

文字数は不問なので長くても短くてもオッケーです。

- ・テーマ
- ・世界設定
- ・キャラクター設定
- ・ストーリー

脳内にあるぼんやりとした構想は、文字にして書き出してみることで、具体的にまとまっていく場合も多いですよ。

それに自分自身のモチベーションも上がりますし、カクヨム甲子園に参加される方は、キャンペーンに挑戦してみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

三浦しをん先生の「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

前回に引き続き、今回も非常にボリュームミーな内容で、もはやプチとは呼べない状態になっています。

【第 20 回小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/003215/>

今回登場した質問はこちら。

投稿者なら誰もが経験する悩みではないでしょうか。

- ・個性のある文章を確立するには、どうすればいいのでしょうか。はじめはだれかの真似でもいいのでしょうか。
- ・思いどおりの文章が書けません。描写したいことがあっても、それをうまく言葉に表すことができないのです。
- ・どうすれば文章に緩急がつくのでしょうか。
- ・文章がビジネス文書みたいになってしまいます……。
- ・小説を百枚も書けるようになるのか、不安です。
- ・小説を完結させるコツはありますか。書いていて自分の文章に絶望してしまったり「なんて支離滅裂なんだ……」と筆が止まってしまうことがしばしばです。

回答は是非直接チェックしてみてください。

一応コバルトの企画ですが少女小説以外にも通用する普遍的な内容です。

個人的に面白かったのは「執筆は長距離走だから距離やコースや給水ポイントを事前に把握しておくべき」というアドバイスですね。

確かにそこを無視して見切り発車すると、力尽きて途中棄権（＝書きかけで永久放置）しちゃいますし、事前準備は大切だと改めて思いました。

こんにちは、らくだです。

ファミ通文庫大賞の1次&2次発表がありました。

えんため大賞が大幅にリニューアルし、カクヨム開催オンリーになったわけですが、その影響で大きな変化が出たようです。

【発表ページ】

<http://blog.fbonline.jp/2019/08/09/12924>

- ・ 応募総数 2,388 本
- ・ 1次通過 158 本 (約7%)
- ・ 2次通過 31 本 (約1%)

ちなみに前回の数字を下に載せておきます。

カクヨム移行で応募数が激増したのは必然かと。

しかし1次通過が大幅に絞られてしまったのは残念です。

- ・ 応募総数 520 本
- ・ 1次通過 94 本 (約18%)
- ・ 2次通過 9 本 (約2%)

1次通過しても受賞しなきゃ意味がない……という意見もあるでしょう。

それでも「自分の作品が1次を通った」というのは、投稿者にとって大きな自信になりますし、その後のモチベーションが大きく上がるものですよね。

そんなわけで、1投稿者の個人的な感想ですが、ウェブ移行で応募が増えるのも善し悪しだなあなんて思いました。

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園で「“推し活” 推進！ キャンペーン」が開催決定しました。

好きな作品にレビューを投稿して当選すると、作者と読者にお揃いでプレゼントを贈呈という、今までになかった新方式のキャンペーンです。

【“推し活” 推進！ キャンペーン】

https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019_campaign06

- ・ 応募方法 カクヨム甲子園の参加作品をレビューで応援する
- ・ 開催期間 2019年8月14日（木）～31日（土）
- ・ 結果発表 2019年9月初旬
- ・ 賞品内容 トリぬいぐるみストラップ合計20組（読者10名、作者10名）

お揃いプレゼントというのが、なんかこう、嬉し恥ずかしな気分ですよ。

っていうかこれ、作者側は何もしてないのに贈り物が届くわけで、バーでナンパされたようなシチュエーションになるのでは。

「えっ、わたし頼んでませんけど？」

「あちらのお客様から差し入れです」

戸惑いながらバーテンダーの視線の先を見ると見知らぬ男がこちらに向かって微笑んでいた。

みたいな。

まあ届くのはトリのぬいぐるみだけど。

とにかく、好きな作者さんへプレゼントを贈るチャンスですし、推したい作品がある皆様はキャンペーンに参加してみてもいいかなと思います。

こんにちは、らくだです。

お盆中は出版社のサイト更新ないだろうから、らくだ図書館もネタ切れするかと思ってたのに、どのレベルも割と普段通りに更新してて草。

まあカレンダー上は祝日じゃないですもんね……。
いつも通り働いている皆様は本当にお疲れ様です……。

さてさて。
そんなお盆真っ盛りにビーズログ大賞の 2 次発表がありました。

【発表ページ】

https://bslogbunko.com/special-contents/bslog_award2/

- ・ 応募総数 558 本
- ・ 1 次通過 67 本 (約 12 %)
- ・ 2 次発表 22 本 (約 4 %)

2 次通過は約 4 %という結果でした。
通った皆様はおめでとうございます。

ちなみにこの賞、えんためガールズだった頃は 2 次通過で選評が貰えたはずですが、ビーズログにリニューアルしてから評価シートに関する言及がなくなったんですよ。

おそらく今はないのだと思いますが、ちゃんと確認を取ったわけではないので、ご存知の方がもしいたら教えて頂けると嬉しいです。

以上、ビーズログ大賞 2 次発表の話題でした。

週末どうしようかな～。

久し振りに映画でも観ようかな～。

という軽い気持ちで、去年話題になったインド映画『バーフバリ～伝説誕生～』をレンタルして観たんですが、衝撃的に面白かった。

ヤバイもんを見ちまったぜ……！（褒め言葉）



【ストーリー】

赤ん坊の頃に滝で村人に拾われ育てられた青年シヴドゥ。彼は運命に導かれるように滝の上の世界に辿りつき、暴君が支配する王国と戦う女戦士と出会う。彼女とともに戦いに身を投じたシヴドゥは、自分がこの国の王子バーフバリであることを知る。背景には、祖父の代から続く壮絶な王位継承争いの歴史があった。バーフバリを待ち受ける運命とはー！（Amazon より）

という王道アクションファンタジーです。

インド映画ですがネタでも何でもなく創作物として素晴らしい完成度。

いやまあ確かにツッコミどころは多いですよ？

唐突にいきなり始まる大恋愛。

あなた人間ですかレベルに強い主人公。

演出過剰な決めゼリフと決めアングルのフルコース。

しかしこの映画には有無を言わせぬ勢いと迫力があります。

この圧倒的興奮の前では冷静にツッコミするなど野暮も野暮。

というわけで観て損はないというか、むしろこれを観ない人生は損すぎるというか、自分が今まで観た映画の中で一番面白かったのは間違いありません。

余談ですが、視聴後ただちに1と2をポチったと言えば、私の本気っぷりが伝わるんじゃないでしょうか。(1もだけど2はもっといいぞ！)

そんなこんなのバーフバリ。

中毒性がすごいので機会があれば皆様是非とも観てください。

こんにちは、らくだです。

公募ガイドがストーリーのタネ大賞を開催中です。

以下のページで公開されている「ストーリーのタネ作成シート」を使ってあらすじを作る企画です。

【ストーリーのタネ大賞】

<https://www.koubo.co.jp/story/>

このストーリーのタネ作成シートですが、創作にとっても役立つ内容なので、投稿者の皆様に是非おすすめしたいです。

なお自分が試したらこんな結果になりました。

ティーンなのに浮気者なんてけしからんぞポンポン。

- ・ いつ? = 今現在
- ・ どこで? = ビル
- ・ 年齢? = ティーン
- ・ 誰が? = 浮気者
- ・ どんなきっかけで? = 災害
- ・ 何をしようとする? = 脱却
- ・ ジャンル? = ホラー

(上記サイトより引用)

この内容だと、崩れ落ちるビルから脱出を図る、パニック系サイコホラーな作品になりそうですね。

この他にも無限の組み合わせがあるので、皆様も創作のネタに詰まってしまった時などに、シートを活用してみてもいかがでしょうか。

今日から仕事だというのに、バーフバリの中毒性が激しすぎて、脳内でマヒシュマティ王国のテーマ曲がエンドレスリピート状態です。

というわけで。

今回はバーフバリの魅力について改めて考えてみました。

まずインド映画にはよくあることですが、この映画も例に漏れず、ツッコミ必至の超展開の連続なんですよ。

たとえば主人公の矢は絶対に敵に当たる。

3本同時に打ってもあり得ない軌道で全部命中。

あと航海中の船がいつの間にか空を飛ぶ。

そんな超展開、普通なら「ありえねえ（ドン引き）」ってなりそうなのに、バーフバリの場合「やはり王は偉大だな！」って感想になるんですね。

それで思ったんですが、多少つじつまが合っていなかろうが、地球の物理法則をガン無視しようが、ひとたび観客を味方につけてしまえば、みんな納得して応援しながら観てくれるんだなーと。

もちろんこれには映像ならではの部分もあります。

同じことを小説でやったらさすがに無理があるかもしれません。

それでも整合性を気にしてテンポが悪くなるよりは、自分の描きたいことを思いきり表現した方が、スカッと気持ちのいい作品になるんじゃないかなと。

というわけで。

バーフバリは観客目線で観ても面白いですが、創作の迷いを粉碎する作品でもあるので、執筆に行き詰まっている方は是非視聴してみてください（ダイマ）

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の女性向け R18 部門「e ロマンズロイヤル大賞 2019」の 2 次通過発表がありました。

【発表ページ】

https://www.enterbrain.co.jp/entertainment/eromanceroyal2019_entry.html

- ・応募総数 108 本
- ・1 次通過 13 本（約 12 %）
- ・2 次通過 5 本（約 5 %）

この賞もそうですが、ネットコンテストの場合、通過リストに作品へのリンクが貼られていますよね。

投稿者さんの活動報告を見て知ったのですが、最近はこれを宣伝目的に使う人もいるようで。

つまり、

「別に出版は狙ってないけれど、通過リストに載ったらアクセスが増えるから、自作を宣伝する目的で色々なコンテストに参加する」

なるほどなあーと。

公募出身の自分にはなかった発想でした。

確かに言われてみれば「賞で通過＝一定水準以上」ということでもんね。

自力で普通にアピールするより宣伝効果は高いかもしれません。

というわけで、コンテストにも多様な楽しみ方があるのだと知って、また 1 つ（？）投稿者として良い勉強になりました。

こんにちは、らくだです。

ノベル大賞 2019 の最終発表がありました。

今回の受賞作は大賞 1 本と佳作 2 本の合計 3 本だったようです。

以下リンク。

受賞者様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/winners/2019year>

- ・ 応募総数 1,269 本
- ・ 1 次通過 471 本 (約 37 %)
- ・ 2 次通過 191 本 (約 15 %)
- ・ 3 次通過 59 本 (約 5 %)
- ・ 4 次通過 11 本 (約 1 %)

応募総数が判明したので通過率を計算しました。

改めて見ると 1 次通過率は意外と高いことがわかります。

(もちろんそれでも難しいですが)

ちなみに今野先生のコメントにあります、今回は選考委員 4 名がそれぞれ違う作品を推したようで、白熱した選考会になったということでした。

最近は読者の好みも多様化しているし、「大好き」とも「大嫌い」とも言われるような、振り幅のある作品を歓迎すると書いてあります。

逆に言うと万人受けを狙った無難な作品ではダメなわけで。

嫌われ覚悟で自分を思いっきりぶつけるのは、創作物の中とはいえとても勇気のいることですが、それこそが新人賞に必要な姿勢なのかなと考えた次第です。

皆様こんにちは。
今回はノベル大賞の選評で気になった内容を。

【ノベル大賞 2019】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/winners/2019year>

リンク先の桑原先生の選評にこんな言及があるんですよね。
「参考にした文献資料等があれば明示しておくこと。作家としての約束事だ」

え？
マジで？

ちょっと待って、私 10 年ぐらい小説投稿やってるけど、参考文献とか一度も明示したことないんですけど！（動揺）

というわけで。
そういうルールを今初めて知りました。

レポートならば参考文献の記載は当たり前ですが、ラノベ読んでも巻末に載ってないから、投稿原稿ではいらないのかとっていた次第です。

いや落ち込むな自分……。
今までの落選はそれが原因じゃない……。
あくまで作品が面白くなかったから落ちたんだ……。

まあそれはそれでつらいですけどね。
あと現代物だと参考文献ない場合もありますけどね。

とにかく今回ルールを知ったので、特定の本や資料を参考にした際は、今後気を付けようと思いました。

皆様こんにちは。

今回も引き続きノベル大賞の選評で気になった内容を。

【ノベル大賞 2019】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/winners/2019year>

吉田玲子先生のコメントに「イヤミス系」という言葉があるんですが。

イヤミスって何？

嫌味好きな萌え属性？

<イヤミス（想像）>

いわゆる高飛車なお嬢様。お金持ちで威張っているが、両親が海外在住のため、本当は孤独で愛に飢えている。口癖は「あんたには関係ないでしょ！」

はいきたー。

テンプレ設定きましたよー。

なお正解をググったら以下の通りでした。

<イヤミス（正解）>

ミステリー小説の一種。事件だけではなく人間の奥に潜む心理などを描写し、見たくないと思いつつも読み進めてしまう、嫌な汗がたっぷり出るような後味の悪い小説のこと。

なるほど……。

イヤなミステリーの略なのね……。

この業界は移り変わりが激しく、次々と新しい言葉が生まれますが、流行に乗り遅れないよう今後も専門用語（？）を追いかけていきたいです。

こんにちは、らくだです。

公募ガイドの連載「気ままに公募ママ」が更新されました。

今回のテーマは「俳句に挑戦」。

楽しくも奥深い俳句に関する公募コラムです。

【俳句に挑戦】

https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/article/koubomama/190802_01.html

筆者の塩田友美子さんですが、かに道楽主催の「かにの日俳句」で百選に入ったそうで、賞品の写真が載っていました。

包みの中身は何なのかしら……。

カニの詰め合わせだったら羨ましいぞ……。

なお入選句はこちら。

上記サイトから引用します。

「蟹味噌に 手を出す前に プロポーズ」

プロポーズの緊張感が伝わってきて素敵ですよ。

言いたいけど言えなくてやっと言えた感じというか。

それで思い出したんですが、私も両親に結婚報告する時はすごく緊張して、食事中だったんですが料理の味もわからないくらいでした。

ちなみに離婚報告は少しも緊張しなかったぜ！

スーパーガン切れ状態で高らかに宣言したぜ！

それもいい思い出……いや良くないですが、字数制限のある俳句は文章センスが磨かれますし、応募するかはさておき私も挑戦したいなと思いました。

こんにちは、らくだです。

手芸店のユザワヤが「ユザビーズ投稿キャンペーン」なる企画を開催中。

自作のビーズ作品の写真をアップするとユザワヤ商品券 2,000 円が当たるというキャンペーンです。

【ユザビーズ投稿キャンペーン】

<https://www.yuzawaya.co.jp/sns/igtwofb1907/>

実を言うと！

私も手芸好きでユザワヤの会員です！

えへへ、意外と女子力高いでしょ？

過去にはこんな記事も書きました。

せっかくなので写真を再掲載しておきます。

【手作りクッション】

<http://rakuda-library.seesaa.net/article/437657307.html>



まあぶっちゃけこの件は、押しキャラの抱き枕カバー買ったけど、サイズの合うクッションがないから自

作したわけで、推しを抱く以上は洗濯したいからファスナーも付けたという話ですね。

高いのは女子力ではなくキモオタ度だったという残念なオチ。

まあその事実とはっくの昔にバレてるに違いないし、今さら隠しても仕方ないので、今後も手芸好きオタクワナビとして生きる所存です。

自分で言うのも何ですが、昨日の記事はユザビーズ投稿キャンペーンにほとんど触れていないので、今回ちゃんと紹介します。

【ユザビーズ投稿キャンペーン】

<https://www.yuzawaya.co.jp/sns/igtwofb1907/>

- ・ 募集内容 手作りのビーズ作品（ユザワヤで材料を購入したもの）
- ・ 応募方法 ツイッター or インスタ or フェイスブックに写真を投稿
- ・ 開催期間 2019年7月16日（火）～8月31日（土）
- ・ 当選賞品 ユザワヤ商品券2,000円分（10名様）

前回の残念な話はさておき、わたくし割と真面目に手芸好きなので、応募作品の写真をしていると心が熱くときめきます。

特にスイカの手提げ超可愛い。

お店で売ってたら買っちゃうレベル。

やっぱりアレですよ。

手作りの持ち物って製作中のワクワク感もあるし、完成した後も、壊れないよう大切に使おうと思うじゃないですか。

そういう気持ちって大事だと思うんですよ。

何でもお金で買ってしまう時代だからこそ逆に。

というわけで、今後も推しのタオルやタペストリーが出たら、手芸スキルを発揮して抱き枕に魔改造しようと思います。

途中でいい話をしても着地点がおかしい。

そんならくだ図書館をこれからもよろしく哀愁。

こんにちは、らくだです。

8月末が締切の第8回角川つばさ文庫小説賞。
残りあと数日ですが規定字数に変更があったようです。

詳しくはカクヨムブログのお知らせをご覧ください。

【角川つばさ文庫小説賞の文字数規定に関して】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2019/08/27/133049>

変更前：7万字～10万字

変更後：7万字～11.2万字

11.2万字って何やねん。

ピンポイントすぎてめっちゃ謎。

理由は紙原稿との調整か、あるいは上限オーバー作品に対する救済か、とにかく当初の応募要項から12,000文字ほど増えました。

まあ減ったならともかく、増える分には困る人はいないので、投稿者にとっては朗報と言える変更ですよ
ね。

というわけで。

まだ間に合うので条件の合う方がいれば応募してみてもいいでしょうか。

なお紙原稿の郵送も引き続き可能です。

その場合は40字×28行で70枚～100枚となっており変更はありません。

以上、角川つばさ文庫小説賞の規定字数の話題でした。

こんにちは、らくだです。

5月にカクヨムで開催された「ドラゴンノベルス新世代ファンタジー小説コンテスト」の中間発表がありました。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/dragon_novels_2019

- ・ 応募総数 1,248 本
- ・ 中間通過 12 本（約 0.9 %）

1 %以下だと……？

まだ最終じゃなくて中間だよな……？

この数字、ソシャゲのレア排出率並みだし、通過するのマジ無理ゲーじゃないでしょうか（真顔）

なお前回の数字は、

- ・ 応募総数 808 本
- ・ 中間通過 45 本（約 5 %）

去年の通過率は 5 %でした。

応募数は去年の方が少ないのに通過数は多いという優しい世界。

というわけでウルトラ狭き門となりましたが、この選考を勝ち抜いた作品は必ず面白いはずですし、最終発表を期待しつつ待ちたいと思います。

以上、ドラゴンノベルス新世代ファンタジー小説コンテストの中間発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

近ごろ朝晩は涼しさを感じるようになりました。

このまま何事もなく秋に移行して欲しいところです。

さてさて。

もうすぐ夏も終わりですがカクヨム甲子園が締切直前企画を開催中。

今から作品を応募すると抽選で 500 円分の図書カードが当たるという追い込みキャンペーンです。

【締切直前キャンペーン】

https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2019_campaign07

- ・対象作品 これからカクヨム甲子園に参加する作品
- ・開催期間 2019年8月28日(水)～9月15日(日)
- ・当選賞品 オリジナル図書カード NEXT 500円分(抽選10名)

エントリー方法は以下の通り。

普通にコンテストへ参加しただけでは自動エントリーされません。

1 コンテスト応募欄でカクヨム甲子園 2019 を選択

2 同じページの自主企画欄で締切直前キャンペーンを選択&登録

今回は追い込み企画なのですでに応募が済んだ作品は対象外です。

逆に既存作品でも今から応募すればキャンペーン対象となるようです。

すでに開催期間後半ではありますが、まだ締切までは2週間ほどあるので、応募資格のある高校生の皆様は今からでも参加してはいかがでしょうか。

ビーンズ大賞の3次発表 - 2019.08.30 Fri

こんにちは、らくだです。

ビーンズ大賞の3次発表がありました。
通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/18th-award/entry-1623.html>

- ・ 1次通過 50 作品
- ・ 2次通過 9 作品
- ・ 3次通過 5 作品

ビーンズは3次の後が最終ですが、自分と同時期から活動している投稿者さんが選考に残っていて、大変勇気づけられています。

やっぱり、アレですよ。

勝手な感情かもしれませんが、新人さんが1~2回の挑戦であっさり受賞するよりも、長年活動を続けてきた投稿者さんが受賞の方が、個人的な心情として嬉しいというか。

いやまあ発表を見るだけの分際で勝手ですけど。

ただ自分も古株だから肩入れしちゃうのは絶対に後者なわけで。

なお去年の最終発表は9月14日でした。

今年は土曜日なので13日が濃厚じゃないかなと予想。

というわけで、あと2週間ほどですが、公式サイトを更新を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ファミ通文庫大賞の3次発表がありました。
最終選考へ進むのは激戦を勝ち抜いた13本の作品です。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/info/entry/famitsu2019_nominated_final

- ・ 応募総数 2,388 作品
- ・ 1次通過 158 作品 (約7%)
- ・ 2次通過 31 作品 (約1%)
- ・ 3次通過 13 作品 (約0.5%)

なおファミ通ブログに以下の注意書きがありました。
わざわざ宣言するということは問い合わせがあったのでしょうか。

「選考は、応募を締め切った段階でカクヨム側よりテキストデータをいただいての選考になっておりますので、カクヨムの作品ページにアクセス数はつきませんのでご了承ください」

なるほど……。
そんな芸当ができるのか……。

かくいう自分も、以前応募した時選考期間中にアクセスがなくて、「ワイの作品読まれてなくね？」と思ってたんですが、それはワナビの邪推だったというわけですね。

まあなんというか、しっかり読まれた上で落ちるのもつらいですが、アクセスがつかなかった理由は判明したので、ウェブコンテストへの疑念が1つ晴れて良かったです。